

横浜国立大学留学生による自国の文化紹介

第28弾！パラグアイ共和国の紹介

<パラグアイ共和国 アスンシオン市>



自己紹介

パラグアイ（アスンシオン市）出身のクリストファー健です。私の母は日本人ですが、パラグアイで生まれ育ちました。横浜国立大学では、建築学を専攻しており、修士号の取得を目指しています。

アスンシオン市の紹介

パラグアイは、南アメリカ大陸の中心に位置する小さな国です。

首都であるアスンシオン市は、パラグアイで一番大きく、有名な都市です。

かつて、スペインの植民地であったことから、スペイン語が公用語として話されます。

また、南アメリカ先住民の言語であるグアラニー語も公用語の1つで、90%近くのパラグアイ人が、グアラニー語を話せます！



おすすめの樹木

パラグアイの国木である「ラブチョ」は、日本の桜のように美しい樹木です！6月から9月にかけてピンク色、黄色、白色の花が咲きます。現在は、多くの国で「ラブチョ」を見ることができます。

